



令和元年度 中央区地域活性化事業交付金 交付決定事業 【小山地区】

令和2年3月31日現在

団体名	事業等の名称	事業の概要 (申請時)			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1 小山よむよむワールド実行委員会	小山よむよむワールド	<p>社会が大きく変化する中、人と人とのつながりは不安定になりがちであり、特に子どもを取り巻く環境は安心・安全とは言い難い。せめて地域の中では、子ども達には大人と共に、ゆったり楽しく過ごせる時間を体感して欲しいと考える。</p> <p>現在、向陽小学校では自己肯定感が養われるように「ふわふわ言葉の取組み」が行われており、小山中学校では「図書館利用促進の取組み」が行われている。また、まちづくり会議では「子どもの持っている能力は高いが、実際に体験する場が少ないと感じられる。子どもたちを含めて活気のある地区にしていきたい。」との意見も出されている。</p> <p>地域で子どもがいる方を対象に実施したアンケート結果では、子どもと大人が共に関わる機会が生まれ、その機会として料理教室の実施も望まれている。</p>	<p>他者との関わりが言語、認知、感情の発達を促すと言われている。</p> <p>子どもと大人が一緒になり、昔話や童話に触れ、物語で出てくる物の工作や食べ物を作ることを体験し、聴く力・想像力・表現力を養い、社会生活を送るための基本的スキルを身につけ、自己効力感を養うことを目的とする。</p> <p>併せて、子どもと大人がゆったり楽しく過ごせる時間を体感し共感できる世界を創出することによって、子どもの健全育成の土台を育むことを目的とする。</p>	<p>子どもと大人が一緒に行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせや読書:世界の昔話や童話に触れる。</li> <li>・物作り体験:物語に出てくる物を工作したり料理などを作る。</li> </ul> <p>子どもと大人が共に楽しみ、理解を深め、心と心が結びつく喜びを実感できる場として、世界の昔話、童話等を通して、ファンタジーな世界を体感し、話の中にある物の工作や料理、お菓子作りを体験する機会を設ける。</p>	R1.12.11	83,000	83,000	83,000
相模原市自治会連合会中央区連絡会	中央区振り込め詐欺対策事業 9地区合同事業	<p>高齢者をねらった振り込め詐欺被害が全国的な課題となる中、中央区内でも被害が多発している。平成30年度には、相模原市自治会連合会中央区連絡会として、振り込め詐欺防止ステッカーによる高齢者向けの詐欺対策事業を実施したところだが、令和元年も被害件数は増加しており、危機的な状況にある。最近、警察官や銀行、市役所の職員等に成りすまして、暗証番号を聞き出し、キャッシュカードをだまし取る被害も多発していることから、地域の防犯意識の高揚や犯罪を寄せ付けない住環境の創出が求められる。</p>	<p>被害の中心となっている高齢者に向けた啓発だけでなく、詐欺被害防止という目線で周り的高齢者を気にかける地域づくりのため、防犯啓発プレートを作成・掲出し、周知・啓発する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯啓発プレートの作成 サイズ:縦30cm×横23cm(角)、厚み0.5mm 材質:PVC(白)、PETコート 数量:4,000枚</li> <li>・防犯啓発プレートの掲出 自治会員宅など、地区内の見やすい場所に掲出する(掲出場所は各地区の判断によるが、電柱への掲出は決して行わない)。</li> </ul>	R2.1.27	1,778,000	1,778,000	1,778,000
						83,000	83,000	83,000

9地区合同事業以外の合計額